

埼玉県の災害時透析施設連携

～これまでと、これから～

2017年9月3日 第11回県民公開講座
JAとりで総合医療センター 新棟3階 講堂

(公社)埼玉県臨床工学技士会
医療安全部長 災害対策委員長
さいたま赤十字病院 医療技術部技師長

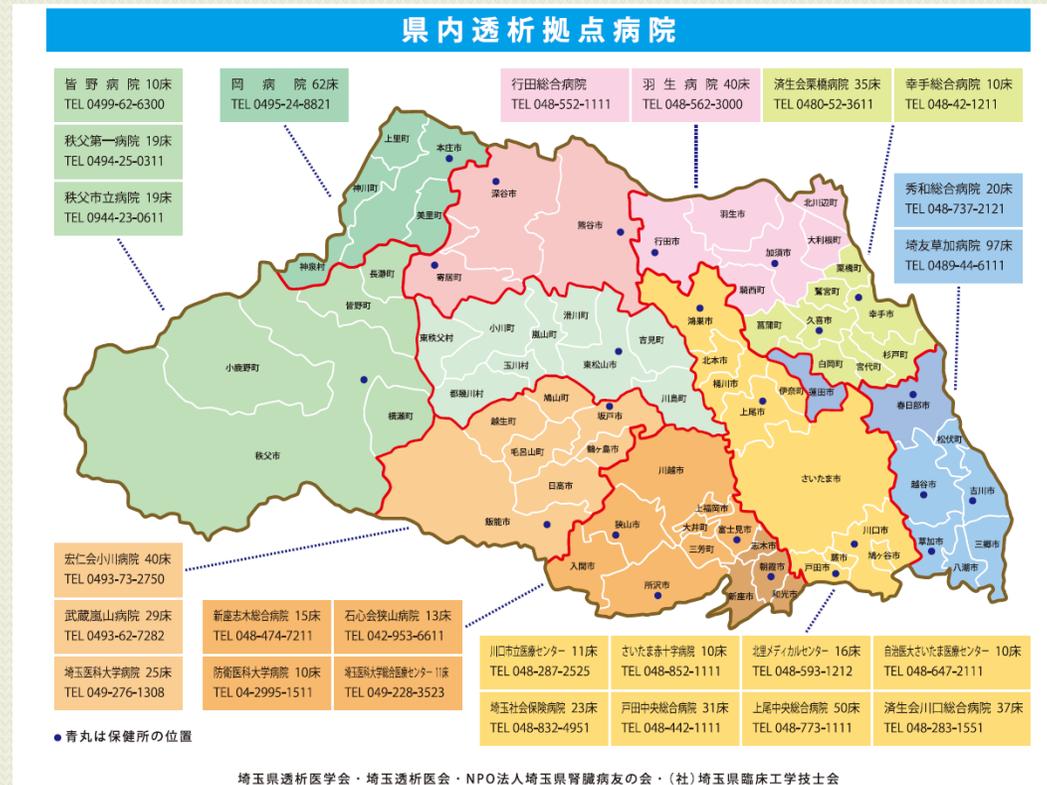
鏑田晋治

活動の経過

- **～2008年**
保健所を中心としたFAXによる情報通信
訓練(年1回・年)
- **2008年6月**
埼玉透析医学会、透析友の会、
埼玉県臨床工学技士会により活動開始
- **2009年6月**
透析患者さんのための埼玉県災害時マニュアル委員会設置

ポスターマニュアル

(県内ブロック分けと連絡先)



県内全施設へ配布

活動の推進？

● 2009年

- 9月：埼玉県災害対策本部長（埼玉医科大学教授）
埼玉県臨床工学技士会会長と県庁へ

県庁の対応はひややか

● 2010年

特に活動なし

2011年3月11日

東日本大震災

- * 災害対策本部・副本部連携取れず
機能せず
- * ポスター(マニュアル)
医師会・患者会・行政からはほとんど
活用されなかった





熊谷さん(石巻赤十字病院 臨床工学技術課課長)

宮城県石巻市門脇



熊谷さんち

石巻赤十字病院への業務支援



2011年4月

災害救護



釜石救護所

動き出し

2011年2月

- 近隣施設 情報連携目的の新年会開催

2011年5月

- 当院腎臓内科雨宮守正医師より「赤十字職員として何かしようよ」と発案
- 透析医療の地域連携強化
- 近隣透析施設の先生方に声をかけ、会合開催（友愛クリニック会議室）
- 埼玉県透析医学会、埼玉県透析医会、埼玉県臨床工学技士会へ伺い
- 災害対策の講演会準備 「さいたま市の透析医療を考える会」(仮称)

2011年11月

- 「さいたま市の透析医療を考える会」 第1回 災害対策講演会開催

さいたま市の透析医療を考える会 第1回災害対策講演会



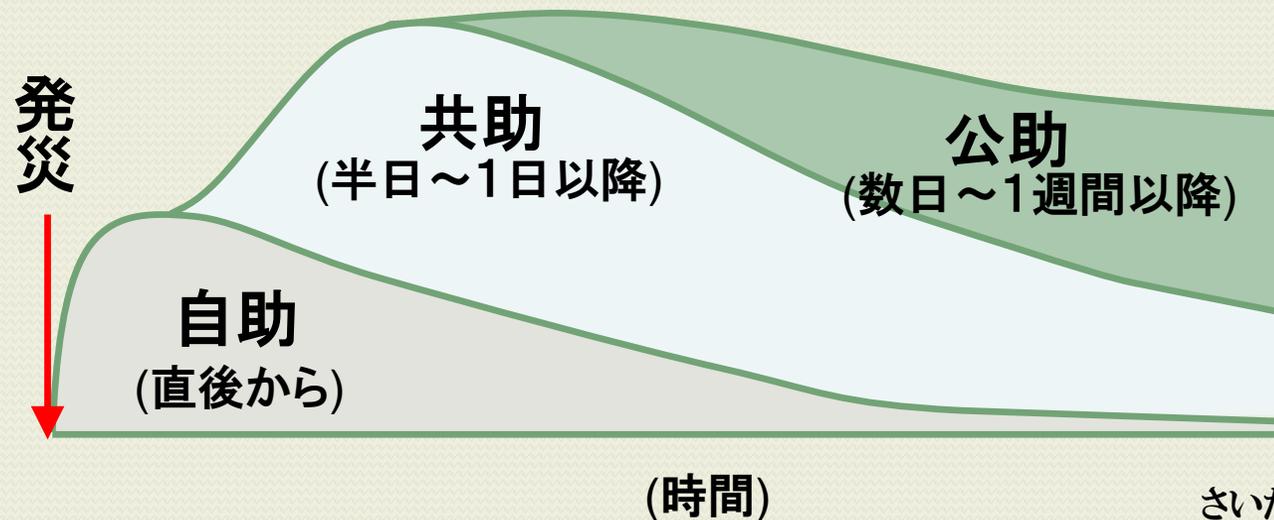
2011年11月
パレスホテル大宮
(150余名の参加)

石巻圏の透析医療が破綻しなかった理由

- ◇ 地域の関係者と顔見知りの関係を作っていた
- ◇ 思考過程・行動基準の標準化



共 助 = 地域力



経過

2012年7月

- 第1回 埼玉県透析医療災害時対策会議(仮称)
埼玉透析医学会、埼玉県透析医会、埼玉県臨床工学技士会の活動を統合
「災害時の透析医療を考える会 埼玉」(仮称)設立
- 埼玉県臨床工学技士会 災害対策委員の参画

2012年8月

- 県内透析施設へアンケート実施(施設状況や災害対策)

2012年10月

- 第2回 埼玉県透析医療災害時対策会議
- 「災害時の透析医療を考える会 埼玉」(仮称)
本 部:埼玉医科大学血液浄化部内
副本部:さいたま赤十字病院 透析室内

経過

2012年12月

- 「災害時の透析医療を考える会 埼玉」
埼玉透析医学会総会で正式承認(傘下組織)

2013年5月

- さいたま腎不全医療資材研究会
協和発酵キリン、中外製薬さいたま市責任者、東レメディカル、テルモ透析窓口、川澄化学、キッセイ薬品、鳥居薬品、旭化成メディカル、ITC、
顧問：雨宮医師 埼玉県透析災害医療コーディネーター
鍵田技士 埼玉県臨床工学技士会 災害対策委員

県内ブロックの再編成



- 区域割の見直し
- ブロック長・ブロック長の任命
- ブロック長会議の開催
- ブロック内連携の推進

活動状況

- MCA無線設置推進 年4回の定期訓練
県内189施設中 49施設設置(任意)
- 患者情報のQRコード推進
- 災害時連携の情報交換
連絡網の作成
業務支援の推進



MCA無線



QRコード

行政との連携

2014年9月

- **埼玉県医療整備課より共同活動の打診**
 - 県内ブロックの行政区による編成修正
 - 災害時透析医療確保マニュアル作成
 - マニュアルに沿った対応の説明会
 - 災害時の情報収集にEMISの活用

災害時の透析医療確保マニュアル マニュアル検討委員（県より委嘱）

透析災害医療コーディネーター	雨宮守正	さいたま赤十字病院
透析災害医療コーディネーター	白井哲夫	望星クリニック
医師会（災害支援）	岡 治道	岡病院
埼玉透析医学会	栗原 怜	さいたまつきの森クリニック
埼玉県透析医会	中里優一	友愛日進クリニック
第1地域ブロック代表	（雨宮守正）	さいたま赤十字病院
第2地域ブロック代表	兒嶋憲一郎	上尾中央総合病院
第3地域ブロック代表	小川智也	埼玉医科大学総合医療センター
第4地域ブロック代表	中元秀友	埼玉医科大学病院
第5地域ブロック代表	（岡 治道）	岡病院
第6地域ブロック代表	杉浦秀和	済生会栗橋病院
第7地域ブロック代表	桑原道雄	秀和総合病院
（公社）埼玉県臨床工学技士会	鑓田晋治	さいたま赤十字病院
消防局	村越正文	さいたま市消防局
保健所長会	藤本眞一	越谷保健所
埼玉県	表 久仁和	医療整備課

災害時の透析医療確保マニュアル

災害時透析医療確保マニュアル

埼玉県保健医療部医療整備課

はじめに

大規模地震や大雪など県内に大きな被害を及ぼす災害などが発生した場合において、透析患者に不可欠な透析医療をどのように確保していくかということは大変重要な課題です。

県内には、継続的に血液透析を必要とする腎不全患者が約1万6千人いると推計されますが、大規模な災害が発生した場合には、多くの患者がかかりつけの医療機関で透析を受けられなくなることが想定されます。このような事態に際しては、透析が可能な医療機関に関する正確な情報などを、迅速に収集・提供できる連絡体制を確立することが必要であります。

県では、平成11年11月に、大規模地震災害などが発生した場合において、透析患者に不可欠な透析医療を確保するため、「災害時透析医療確保マニュアル」を作成しました。

その後、平成23年3月の東日本大震災の発生や平成26年2月の大雪被害などを踏まえ、本マニュアルを改正することとし、本県の透析医療に係る関係医療機関・団体から構成される災害時透析医療マニュアル検討委員会において協議してきました。

関係者の皆様には、このマニュアルに沿った情報の収集・提供が円滑に行える体制づくりに向けて、今後、それぞれの状況に即した取り組みを進めていただけますよう、また、関係者以外の機関や団体等におかれても、それぞれの本来業務に応じて御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

なお、クラッシュシンドローム（挫滅症候群）、骨折、あるいは臓器損傷などを併発している重症患者（透析療法以外の処置も必要な患者）では災害拠点病院などの高度医療機関への搬送が必要のため、このマニュアルでは想定しておりません。

平成28年3月

-1-



A4判 41頁(16項～連絡先名簿)

各ブロックにて埼玉県庁・保健所の方と説明会の開催(9日間)

EMIS (広域災害救急医療情報システム)

The screenshot shows the EMIS homepage with the following elements:

- Header:** "EMIS Emergency Medical Information System" and "雨宮 守正 (さいたま赤十字病院)".
- Navigation:** Home > 関係者メニュー, ログアウト, 運用状況一覧はこちら.
- Emergency Information (緊急情報):** A list of recent alerts with dates and times, such as "2017/08/28 13:49 (事務連絡の修正) ミサイルの推進剤に関する情報提供及び状況確認について".
- Notices (お知らせ):** A list of notices with dates and times, such as "2017/08/28 10:30 [中国・四国ブロック] DMAT技能維持研修の講義資料について".
- Menu (メニュー):** 災害共通, 医療機関, DMAT・救護班, 医療輸送(MATIS), システム管理, マニュアル・ガイド, DMAT関連資料.
- Disaster Common (災害共通):** Monitoring (モニタリング) and Business (業務) sections.

The screenshot shows the data entry interface with the following table structure:

緊急	詳細	詳細	詳細	詳細	詳細	緊急時入力										詳細入力										
						更新日時	医師 出勤 状況	入館 前線 倒壊の 恐れ	電気 使用 不可	水 使用 不可	医療 ガス 使用 不可	医薬品 衛生器具 材 使用不可	多量 患者 受診	傷 目 状況	その他	更新 日時	入館 前線	救急 外傷	一般 外傷	手術 室	その他	電気 使用 不可	水 使用 不可	医療ガス 使用不可	食糧 供給 なし	医薬品 供給 なし
未	未入力	さいたま市立病院	チーム数: 0	未入力	未入力	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
未	未入力	さいたま赤十字病院	チーム数: 0	未入力	未入力	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
未	未入力	さいたま赤十字病院 (救命)	チーム数: 0	未入力	未入力	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	63
未	未入力	医療法人慶寿会 さいたまつきの森クリニック	チーム数: 0	未入力	未入力	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
未	未入力	さいたま北部医療センター	チーム数: 0	未入力	未入力	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
未	未入力	医療法人社団常理会さいたまほのかクリニック	チーム数: 0	未入力	未入力	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
未	未入力	埼玉メディカルセンター	チーム数: 0	未入力	未入力	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
未	未入力	影の関東大宮メディカルセンター	チーム数: 0	未入力	未入力	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
未	未入力	指原病院	チーム数: 0	未入力	未入力	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未

年4回の情報入力訓練

内閣府主催 大規模地震時医療活動訓練



埼玉県危機管理防災センター

透析用資材・移動手段・透析用水確保

- 埼玉透析医療資材研究会
- 埼玉県医薬品卸業協会（県庁と協定締結）
- 埼玉県バス協会（県庁と協定締結）
- 水道局との情報交換と給水訓練

給水訓練



1 都6県災害時情報伝達訓練

東京都、茨城県、千葉県、神奈川県、栃木県、群馬県、
埼玉県臨床工学技士会合同による情報伝達訓練

災害を想定し情報伝達と共有のための訓練

事前打ち合わせと情報交換会

今後の課題

- 透析拠点施設の選定

災害拠点病院と別とし、維持透析のみの施行

患者のみならず 医療資材、医師、スタッフ、透析用水供給をすべて集約

診療点数、光熱費、生活消耗品等の分配、分担

- 県外地域との連携強化

- 他団体との連携推進

自助・共助・公助

- 自助・共助（相互扶助）
 - ・施設単位の危機管理（自助）
 - ・透析医療施設、関連施設の支援体制（互助）
 - ・行政・報道機関の支援（公助）
- 普段からの情報交換
- 顔の見える関係

地理的距離もそうですが、心も繋がった関係づくり

情報連絡会（懇親会）



豆の木会



バーベキュー

ご清聴有難うございました